

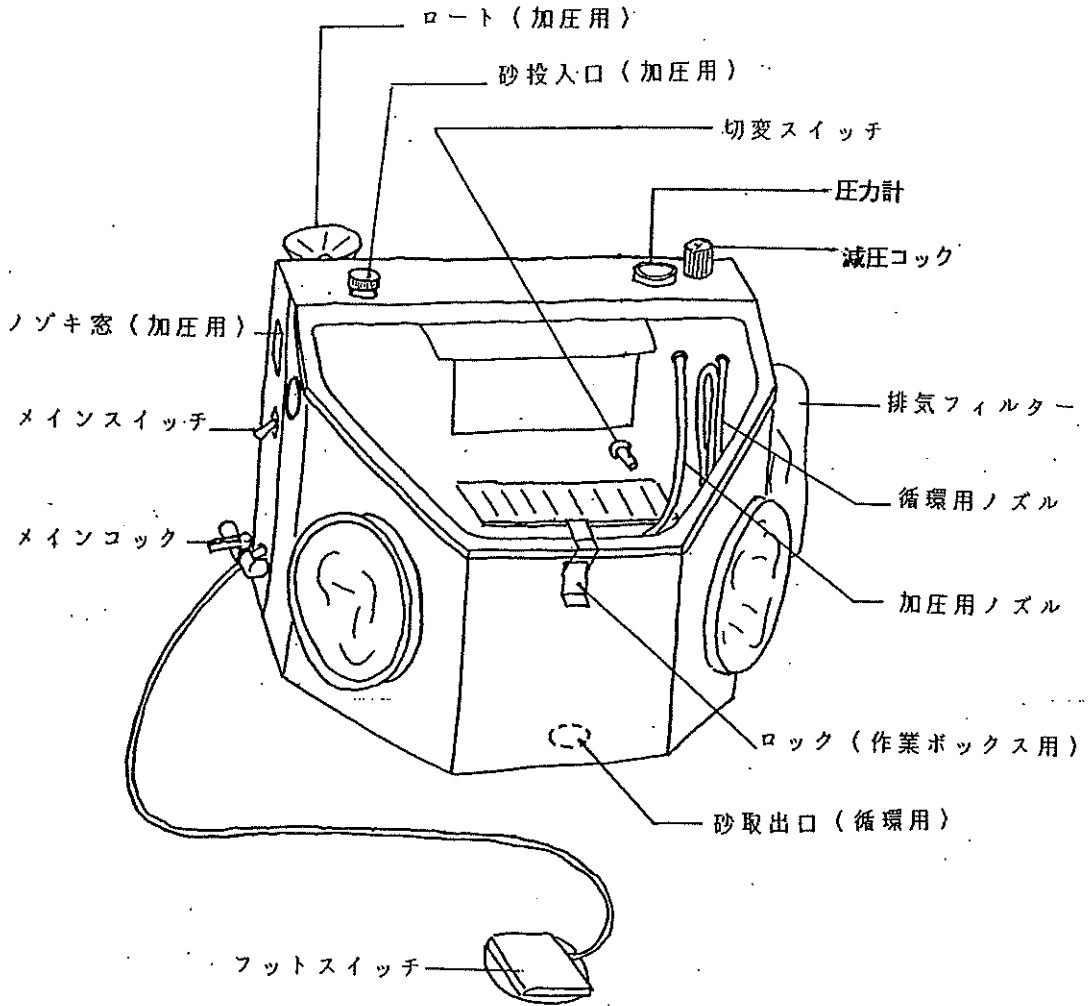
サイクルII

目次

項目	頁
1. 各部の名称	2
2. 仕様・付属品	2
3. 付属品	2
4. 用途	3
5. 設置	3
6. 研磨材投入方法	3
7. 作動方法	3
8. 一般的使用方法	3
9. 照明ランプの交換	4
10. 手袋の交換	4
11. その他	4

この度、大榮製『サイクルII』をお買上げ頂き、有り難うございます。
大榮では一人でも多くのユーザー様にご愛用頂けるためにも、ご使用前に必ず
本書『取扱説明書』をお読み頂けます様お願い申し上げます。
尚、ご使用上、何か不明な点やご質問等ございましたら、下記までご連絡下さい。
大榮歯科産業株式会社 本社 機械開発部 ☎06-441-3332 (代)

1. 各部の名称



2. 仕様	3. 付属品
寸法 W400×H350×D380(mm)	研磨材：サイクル(循環) G12 (ガラスビーズ) 2J
圧力 0.39MPa(メガパスカル)以上	：マイクロ(加圧) G32 (ガラスビーズ) 9袋
従来表：4 kg/cm ² 以上	集塵用排気フィルター (ゴム栓付)
電力量 AC 100V 30W	研磨材 投入用ロード
重量 11kg	配管ホースセット

4. 用途

鑄造後の埋没材落とし

金属の酸化被膜落とし・・・研磨材は、別売の酸化アルミナA10循環用又は、A22加圧用をご使用頂くと大変効果的です。

金属の表面処理・・・研磨材は、別売の酸化アルミナA10循環用又は、A22加圧用をご使用頂くと大変効果的です。

義歯重合後の石膏除去・・・エア圧が高いと、レジンを傷つけるので、必ず減圧して研磨材は、ガラスビーズをご使用下さい。

5. 設置

①本機を安定した、作業のし易い高さに設置して下さい。

②集塵用排気フィルターを本機側面部の穴に取り付けて下さい。（自然排気）

集塵機を利用する場合、作業ボックス内の減圧を避けるため、このフィルターと共に、もう一方のゴム栓を取り除いてご使用下さい。

③本機は一般家庭用電源(AC100V)で作動します。(AC100V 以外での使用不可)

④配管には、付属の配管ホースセットをご利用下さい。

⑤圧縮空気圧は、0.39~0.69MPa(メガパスカル): 鉢標(4~7kg/cm²)の範囲でご使用下さい。
この範囲を越えたご利用は避けて下さい。(保証修理不可)

6. 研磨材投入方法

①本機には、2種類の粉度が異なる研磨材を標準装備していますが、別売で種類の異なる研磨材(蹴アルミ)も準備しており、投入には十分気を付けて下さい。

②サイクルG12(2ケ)⇒循環用⇒作業ボックスに全部投入。

③マイクログ32(9袋)⇒加圧用⇒加圧タンクに1~2袋投入。

イ) 左上部の研磨材投入口の蓋を開ける。(ネジ式)

ロ) 付属のロートを使い研磨材を投入。(但し入れ過ぎに注意)

砂量は左側面のノゾキ窓で確認、タンクの半分以下がベスト状態です。

ハ) 研磨材投入口付近の研磨材を取り除き、蓋を閉める。

④サイクルG12(循環用)の研磨材が古くなったら早目に交換して下さい。

交換時期は、使用条件により大幅に異なりますが、投入された研磨材に、不純物(埋没材・石膏)やゴミ等が目立つようになった時期を目安に交換下さい。

尚、交換には本体底のゴム栓を利用して下さい。

参考：付属のガラスビーズとは別に、酸化アルミナ(2種類)も準備しています。

ご希望の場合は、販売代理店又は、当社営業所までご連絡下さい。

注意：他社メーカーの研磨材の使用を禁止致します。(保証修理不可)

7. 作動方法

①加圧用研磨材投入口がしっかり閉まっている事を確認。

②メインスイッチを入れる⇒作業ボックス内の照明ランプ点灯。

③メインコックを開く。(レバーを90度回転する)

④減圧コックで希望する圧力に設定する。(右回転⇒高圧/左回転⇒低圧)

⑤ペンシル切換えスイッチで加圧/循環を選択。(右側⇒循環/左側⇒加圧)

⑥各研磨材の噴出は、フットスイッチで行い、踏むと研磨材が出ます。

⑦被研磨物を作業ボックスに入れ、フロント扉のフックを必ず閉めて下さい。

注意：扉ロックなしでの使用を禁止致します。(保証修理不可)

⑧被研磨物とノズルの間隔を2~3cm、被研磨物に対し研磨材の噴射を直角にすると一番効率の良い研磨が得られます。(ケースにより距離・角度を調整)

注意：ペン先をフロント扉に向け、研磨材を噴射すると、フロント扉が研磨されて(スリガラス状になり内部が見えなくなる)その後の作業に支障をきたします。

8. 一般的使用法(研磨材の噴射方法と研磨材の使い分け)

循環式 [ガラスビーズ⇒ニッケル合金、金パラ合金の埋没材除去。

酸化アルミナ⇒コバルト合金、ニッケル合金の埋没材除去。

加圧式 [ガラスビーズ⇒ニッケル合金、金パラ合金のメタル処理。

酸化アルミナ⇒ボンド用金属のメタル処理及び、陶材の研磨。

参考：レジン義歯床の石膏除去 ⇒ ガラスビーズ⇒エア圧0.29MPa 以下

金属床・チタン金属への利用⇒酸化アルミナ⇒エア圧0.49MPa 以上

9. 照明ランプの交換

- ①メインスイッチを切り、本体裏面板（ネジ4ヶ所）を外しランプの交換を行う。
- ②交換が終わり裏面板を元に戻す時は、反射板に注意して下さい。

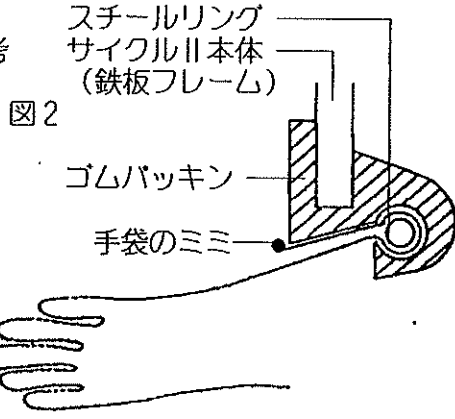
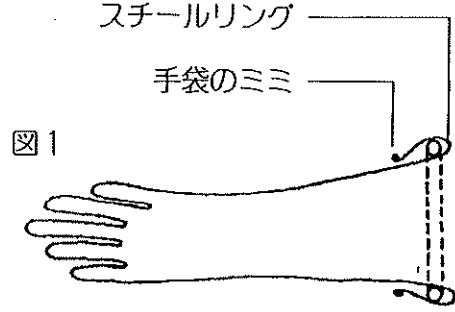
注意：反射板の内側（ランプ側）に配管ホースを巻き込むと、熱でホースが溶けてエア漏れの原因になります。

注意：照明ランプは、当社指定の物をご使用下さい。

他社製のランプを取り付けると電力量の違いでレセプトが焼けたり、その他への悪影響を及ぼす危険があります。

10. 手袋の交換

- ①古い手袋を外す
⇒手袋とゴムパッキン一緒に外側へ引き抜く（ボックス内部のゴムパッキンをめくると簡単に外せます）
- ②古い手袋とゴムパッキンを分離
⇒手袋にはスチールリング入り
- ③ゴムパッキンを本体にセット
⇒本体フレーム外部からはめこむ。
- ④新しい手袋にスチールリングをセット
⇒手袋のミミを外へ折り曲げ、スチールリングを挟み込む。・・・図1参考
- ⑤ゴムパッキンに手袋をはめる
⇒スチールリング部をゴムパッキンに内側からスリット部へ入れ込む。内側のゴムパッキンをめくりながらはめると簡単にセットできる。
- ⑥最終チェック
⇒ゴムパッキンに手袋をセット後、手袋全体を持って外へ軽く引く。外向きにゴム手袋を軽く引く事で、パッキン内部へ確実に手袋は、固定されます。・・・図2参考



11. その他

- ①本機の圧縮空気以外（CO₂・O₂ガス等）での使用を禁止する。（危険防止の為）
- ②コンプレッサーエアーの湿気に注意する事。
コンプレッサーは、定期的な水抜き管理が必要。（特に湿気の多い季節は毎日）
- ③エアー中の湿気による故障は、保証期間内でも有償修理の対象とする。
- ④本機は、歯科用サンドブラスターとして開発された商品です。
歯科補綴物以外への利用は、絶対に行わない事。
- ⑤ゴム手袋の劣化により、素手に直接研磨材が噴射される恐れがある場合は、直ちにゴム手袋の交換をする事。
ゴム手袋なしでの使用中の事故・損傷については、当社は保証致しかねます。
- ⑥万一故障が生じた場合、代理店又は当社（営業所を含む）まで連絡する事。
一方的な利用者側での修理は、絶対に行わない事。
- ⑦修理点検に関し、保守点検の指定が無い販売店の取扱いは、お受けできません。
- ⑧当社に起因する故障は、保証規定に基づき1年間は無償で修理致します。
但し、次の場合は対象から除かせて頂きます。（有償修理の対象）
- 保証書の日付・販売店・ご利用者の明記及び保証書の提示がない場合。
- ご利用者の誤った取扱いによって故障した場合。
- ご利用者の一方的な修理・改造・調整がなされている場合。
- 当社指定の研磨材・その他消耗品を使用されていない場合。
- 一般的消耗品等。